



軽やかな心

夏から秋にかけて、部活動を始め多くの行事や特別活動が行われ、生徒の皆さんの真剣なまなざしや溢れる笑顔、歓喜の声にたくさん接しました。そうした中、コロナ禍を踏まえて、活動ができることが当たり前と思っていたことが当たり前でなく、活動できる瞬間がとても大事なことに気づいたという声が聞かれました。このような思いを持って、物事に取り組むことのできる西高生は素晴らしいと思います。一瞬一瞬を大切に、高校生活をより充実したものにして欲しいと願っております。学校では可能な限り、生徒が主体的に取り組むことのできる活動の機会を設けていきます。

校長 高見澤 圭一

さて、活動に取り組む際の心構えで大切なこととして、一瞬一瞬を大切にすることの他に先哲の言葉から、軽やかな心を持つことを紹介します。ニーチェによると、「何か創造的な事柄に当たるときはもちろん、いつもの仕事をする場合でも軽やかな心を持っているとうまくいく」とのこと。もし、軽やかな心を持っていないと自覚する人がいたらその場合には、「多くの知識に触れたり多くの芸術に触れたりすることによって、人の心は徐々に軽やかさを持つようになっていく」と、対処法も示されています。

11月に入って部活動や研究発表、各種コンクールなどでの西高生が活躍する舞台が続いています。また、3年生は一人ひとりの目標に向けて大事な時期が続いています。それぞれつらく苦しい場面もあると思いますが、軽やかな心を持ちながら乗り越えていってくれることを切に願っています。

10月21日に富士河口湖町で行われたTGC FES YAMANASHI 2023に、本校ダンス部がDOBERMAN INFINITYのバックダンサーとして出演しました。



練習が始まったのは9月半ばでした。普段講師なしに活動している私達にとってプロの方々にレッスンをして頂く機会は新鮮なものでありませんでした。少ない練習期間でしたが1回1回の練習を大切に私たちにしかつけない最高の舞台を作り上げたいという一心で駆け抜けました。TGCという夢の舞台が終わった今、私達の心には喪失感はありません。全員にとって初めてのバックダンサーという経験、本番の舞台は4分30秒あったはずが数秒に感じられ踊った感覚がなかったです。舞台からの景色は、これまでにないほどの輝きでした。本番終了後メンバーに「皆さんのフレッシュなダンスにパワーをもらいました!」と言っていたときその言葉が何よりも嬉しかったです。ただただ幸せな忘れることのできない思い出になりました。多くの方々の支えに勇気とエールをもらいました。ありがとうございました。西高ダンス部はこれからも、まっすぐな瞳の先にあるただ一つだけの未来を強く信じ、見てくださる方に笑顔とパワーをお届けできるように突き進んでいきます!

長澤 和未(増穂中出身)

IBフルディプロマ生の学びの成果発表を通じて、1年次生がIBについて学びました。(10月7日 土曜学習会)



Visual Arts 美術



Exhibition 展示

1つのテーマに沿って複数の作品を展示し説明します

自分の作品を見てもらうことは初めての体験で、なんだか不思議な感じがしました。展示を通して、自分の思ってもいなかった考えを一年生の皆さんからいただくことができ、美術作品の解釈の奥深さ・幅広さを感じると共に、新たな視野を養うことができました。

萩原 ののか(玉幡中出身)

Theory of Knowledge 知の理論



The TOK Exhibition TOK展示

1つの問いについて3つの事柄を示して説明します

相手に伝える、ということ強く意識して発表に臨みました。今回表現や視覚情報の選択を深く考えたことを通して、これから文章化していく際にさらなる論の発展を目指していきたいと考えています。

鎌倉 奈奈美(梨大附属中出身)



Kofu Nishi High School

山梨県立甲府西高等学校

〒400-0064 山梨県甲府市下飯田4丁目1-1
TEL:055-228-5161 FAX:055-228-5164
URL <http://www.nishi.kai.ed.jp/>

発行/2023.12 編集/広報委員会



*stage /steɪdʒ/

【「立っている場所」が原義】— ㊦ (㊦) ~s/-ɪz / ㊦

- 1 舞台、ステージ(◆世界の象徴)
- 2 [活動の]舞台、場所[for, of]
- 3 (発達・発展などの)段階・時期

- 用例) 1 N-stage 西高生の時代(時期)
- 2 N-stage 西高生の活動舞台

vol.75

2023.11 甲府西高情報誌

西高のステージへ!

山梨県立甲府西高等学校
Kofu Nishi High School

n-stage



自己を知り 自己を深める

Know Thyself, Enrich Thyself

書: 穎川 太郎(山梨南中出身)

「西高、入ってみたらこんなトコだった！」

甲府西高校の様子を、生徒会の皆さんに聞いてみました。
イメージ通りだったこと、入学してみてもはじめて気付いたこと、教えてください！



山下雄大(2年・甲府北中出身)

藤井優(2年・若宮中出身)

宮川要(1年・竜王中出身)

白井悠月(1年・竜王中出身)



藤井
授業のことについて言っていていいですか？65分授業と聞くと、長いと感じる人もいかもしれませんが、先生方が生徒の学びを丁寧にサポートしてくれるので、楽しく65分間の授業を受けることができています。授業の中でもペア活動が盛んなので、相手の考えていることを知ることができるし、自分も相手に分かりやすく伝えることを考えながら説明して、理解が深まるのが良いと思います。

白井
私、部活が楽しいです！自分はダンス部なのですが、先輩たちとも仲が良いし、男女一緒にの部活なので、様々な垣根がなくワイワイやっています。放課後楽しく活動できるのが、学校生活の中で物凄く大きいです。最近はTGCや富士急ハイランドのイベント、信玄公祭り大きなステージに立てて、なかなか出来ない経験をさせてもらいました。

藤井
普段の学習はコツコツやる子が多いので、鳳凰祭になったら丸となって前向きに進んで行くメリハリがあるよね。私達2年生は年次対抗でダンスをやったけれど、ダンスの練習を通して、クラスがまたひとつになって、凄く良い瞬間だったな。

…中学生へメッセージ…

宮川
高校生になると部活や生徒会活動、家庭での学習などやることも幅広くありますが、3年間を通じて課題解決能力や、時間のやり繰りを身に付けることができそうです。

白井
何より鳳凰祭(学園祭)が大きいですよね！

山下
授業だとか、大変そうなイメージがあったけれど、実際入学してみたら、本当にめちゃくちゃ楽しい。西高は、中学生の時想像していたよりも、自由さがありました。

白井
休み時間にみんなで小テストに向けた問題を出し合うこともありますよ。

宮川
模擬店をはじめコロナ禍でなくなっていたのも本格的に復活したり、お客さんも呼べる様になったね。

藤井
西高は、生徒一人一人の学びを深めるために先生たちが考えてくれていて、良い機会がたくさん揃っています。中学生の皆さん、ぜひ西高に来てください！

高校には興味深いことがたくさん待っているの、中学生の皆さんも緊張しないで高校生活を迎えてほしいなと思います。

白井
オープンスクールを通じてアットホームなイメージがあったけれど、本当にその通りでした。想像通り楽しいなあと感じて、日常を過ごしています。実際に学園祭やオープンスクールに足を運んで、温かい気持ちになってほしいです。

藤井
西高は、生徒一人一人の学びを深めるために先生たちが考えてくれていて、良い機会がたくさん揃っています。中学生の皆さん、ぜひ西高に来てください！

体育祭

9月に行われた体育祭は、鳳凰祭以来の全校生徒が活動する機会となり、大きな盛り上がりを見せました。今年は昨年とは異なり鳳凰祭のブロックTシャツを着用しての実施となり、学年関係なく西高生が1つとなれた行事となりました。
生徒会副会長 中澤 暖乃(北東中出身)



全校競技
綱引き
ブロック対抗リレー

1年次対抗…玉入れ
2年次対抗…障害物競走
3年次対抗…借り人競争

優勝はEブロック(紫)！



ウォーキング大会

生徒それぞれの目標に向けて、楽しみながら進みました。大会にご協力頂きました保護者の皆さまに、感謝申し上げます。



120周年記念式典・記念講演会

甲府西高校は、県立高等女学校・甲府二高時代から数えて120周年を迎えました。記念講演会では、ジャーナリスト・池上彰先生に、「世界における日本の可能性 その中で君たちはどう生きるか」というテーマで、ご講演をいただきました。



池上先生の日本と外国の関係の話や、日本をよく知るためにも外国で様々な経験をして見聞を広げることが大切だと強く感じました。これらの経験は、外国の文化・宗教などにも理解を深めることになり、多様な社会で共生するには必要なことだと認識することができました。
辻 寛菜(甲府西中出身)

芸術鑑賞会「学校寄席」

笑い声や、真剣な眼差し、紙切りが仕上がった時の驚きの声など、生徒たちの心動かされる様子がみられました。



落語家の方々の話し方はとても聞きやすく洗練されていてとても参考になりました。また、師匠から弟子へと何百年もの間脈々と受け継がれてきた文化のすごさを実感し、改めて日本文化の良さを知ることができました。
深澤 広佑(上条中出身)

総合的な探究の時間特別企画 嶋津幸樹先生講演会

英語の学び方や嶋津先生自身の海外のご経験、海外に目を向けグローバルな選択をする重要性をご講演頂きました。講演終了後も質問が止まらず、非常に刺激を受けた会になりました。



今回の講演で、「挑戦する」ということが様々な成功に繋がると思った。嶋津さんは海外に行くというきっかけのもと、相手に教えたり、塾を開いたりすることで、大学合格、会社経営など今の成功に繋がっている。しかし、その中で失敗も繰り返したと思う。「失敗すること」と「挑戦すること」の繰り返しが大事だと感じた。
吉澤 峰尖(田富中出身)

総文祭・インターハイに出場しました！



体操競技(体操部)
松住祐里 小野楓
塩澤彩華 横内璃子

美術・工芸部門(美術部)
総合開会式出演
加賀美葵

文芸部門(短歌)
志村晃太郎

新聞部門(新聞部)
田中碧都 佐藤李樹
秋山翔弥 小池風花
岡田真歩

将棋部門(囲碁将棋部)
近藤俊太 田中康太
長谷部龍範

書道部門(書道部)
小野和奏